

新型コロナウイルスの毒性の高さ

季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高い

特に、高齢者・基礎疾患を有する者では
重症化するリスクが高い

現時点では、有効性が確認された特異的な
抗ウイルス薬やワクチンは存在しない

治療方法としては対症療法しかない

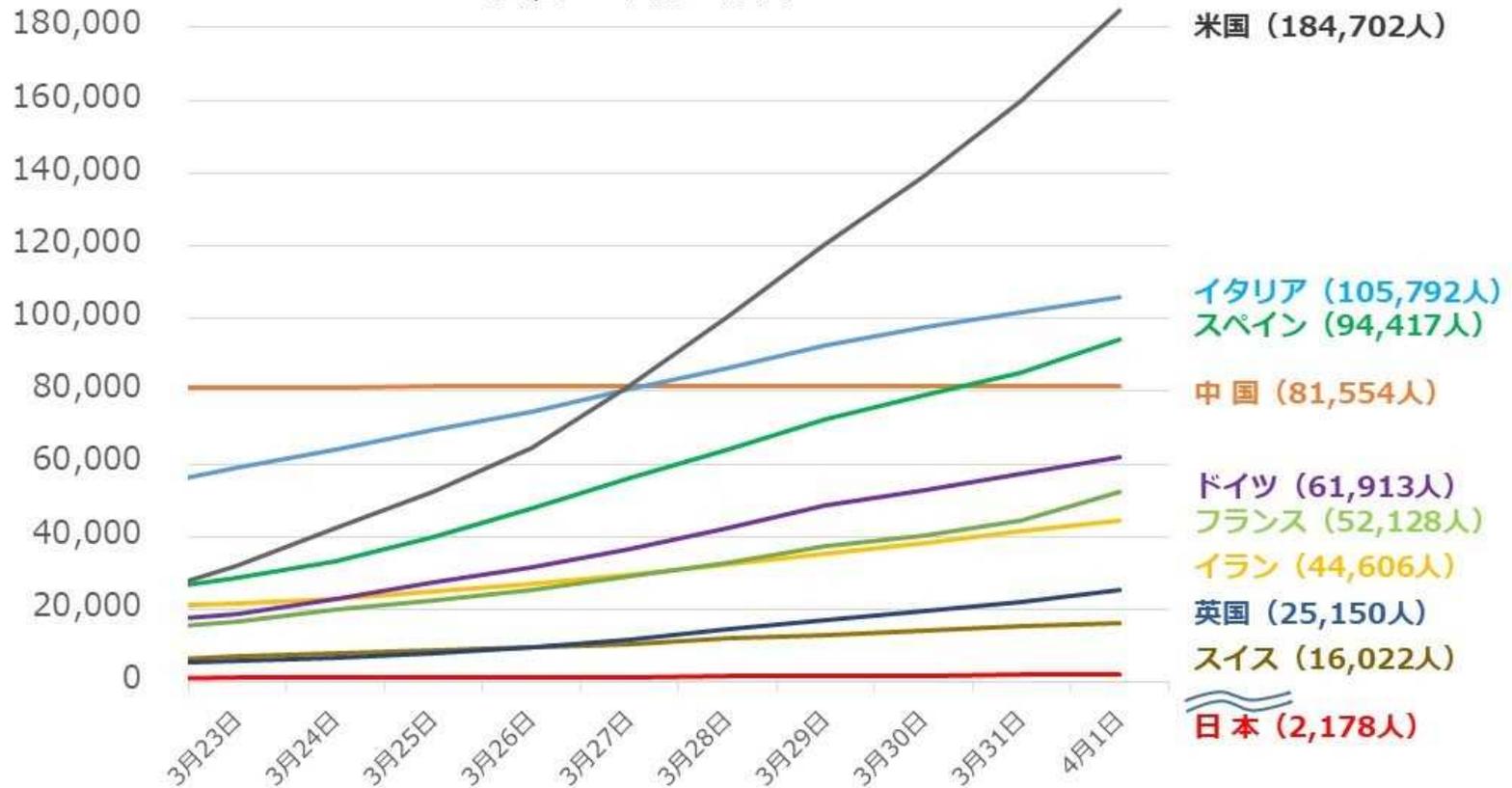
新型コロナウイルス 国別感染者数の推移

4/1 (水) 時点

国別感染者数の推移 (累積) ①

(上位9か国及び日本)

出典：各国政府発表
(米国は各州発表)



(注) 中国は「感染者数」に無症状感染者を含めていない。

外務省ホームページより

世界各国の状況等

イタリア

- ・世界最多の死亡者数
- ・3/10: イタリア全土での移動制限
- ・医療マスクや防護服の不足
- ・医療従事者の感染者数増加
- ・生存する可能性の高い患者優先

スペイン

- ・3/14: 非常事態宣言
- ・イタリアを上回る医療崩壊
- ・介護施設における感染拡大
(施設内の遺体回収追いつかず)
- ・サグラダ・ファミリアの工事にも影響

アメリカ

- ・世界最多の感染者数
- ・3/13: 国家非常事態宣言
- ・3/22: 不要不急の外出禁止
- ・セントラルパークに仮設病院建設

ブラジル

- ・3/17: 国内で初の死者
- ・3/20: 非常事態宣言
- ・大統領と感染拡大を防ぎたい
州知事との対立
- ・アマゾン先住民への初感染確認

著名人の投稿等

YOSHIKI(ミュージシャン／アメリカ在住)

「国家非常事態宣言そして外出禁止令が発令されている LA にいます。緊迫しています。

先ほど日本のニュースを見たら、信じられないような事が起きている。

”この時期に...今は...”イベント等は危険過ぎると思う。みんなが心配、本当に心配..
冷静な判断と行動を。」(出典: Twitter)

吉田 麻也(サッカー選手／イタリア在住)

「日本の皆さん、冗談抜きで家にいた方が良いです。感染拡大を食い止めるには一人一人の行いにかかっています。」(出典: Twitter)

山中 伸弥(教授／日本在住)

新型コロナウイルスに対する5つの提言をネットで掲載。

山中伸弥教授

新型コロナウイルス対策に対する5つの提言

- 提言1 今すぐ強力な対策を開始する
- 提言2 感染者の症状に応じた受入れ体制の整備
- 提言3 徹底的な検査(提言2の実行が前提)
- 提言4 国民への協力要請と適切な補償
- 提言5 ワクチンと治療薬の開発に集中投資を

(参照:山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信

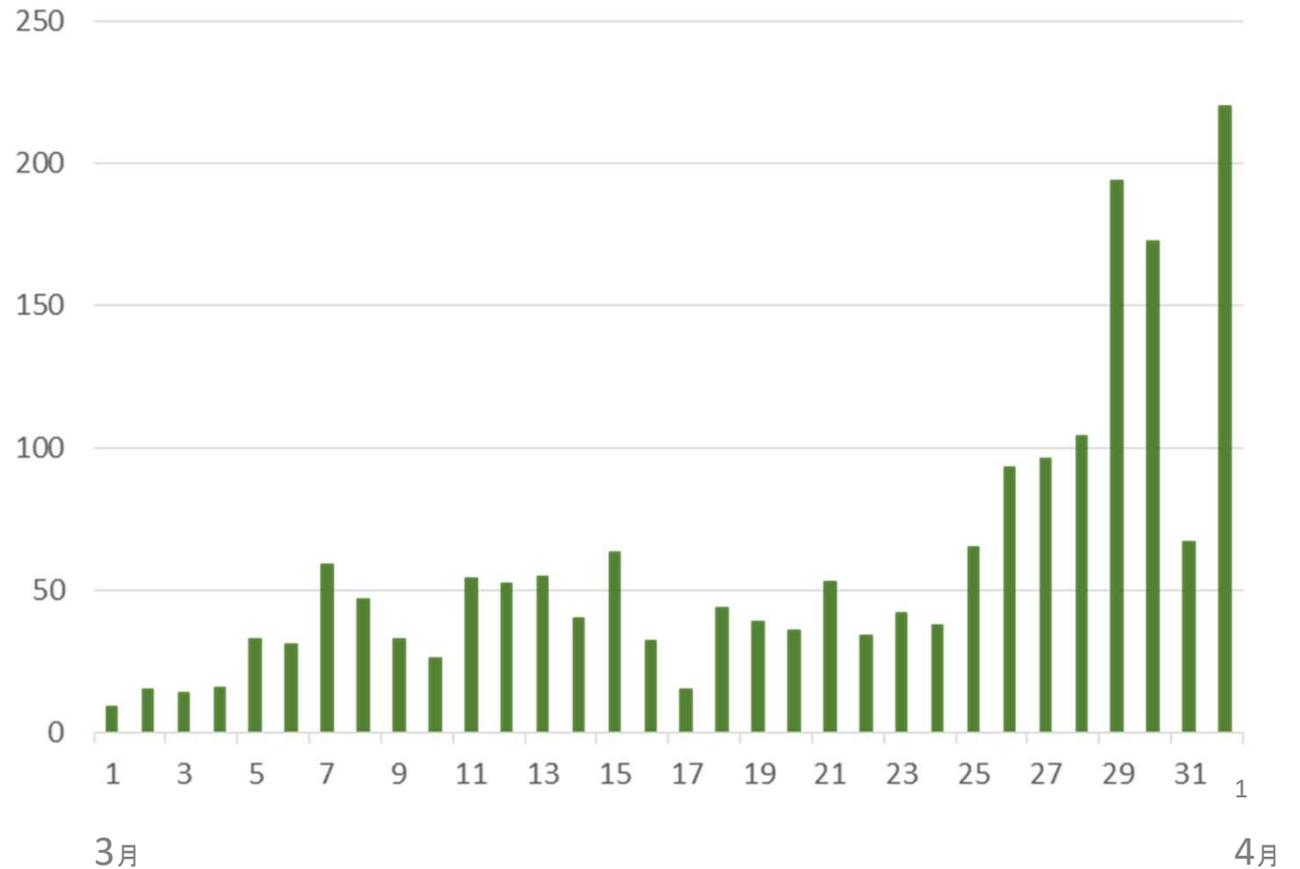
<https://www.covid19-yamanaka.com/cont6/main.html>)

日本の状況

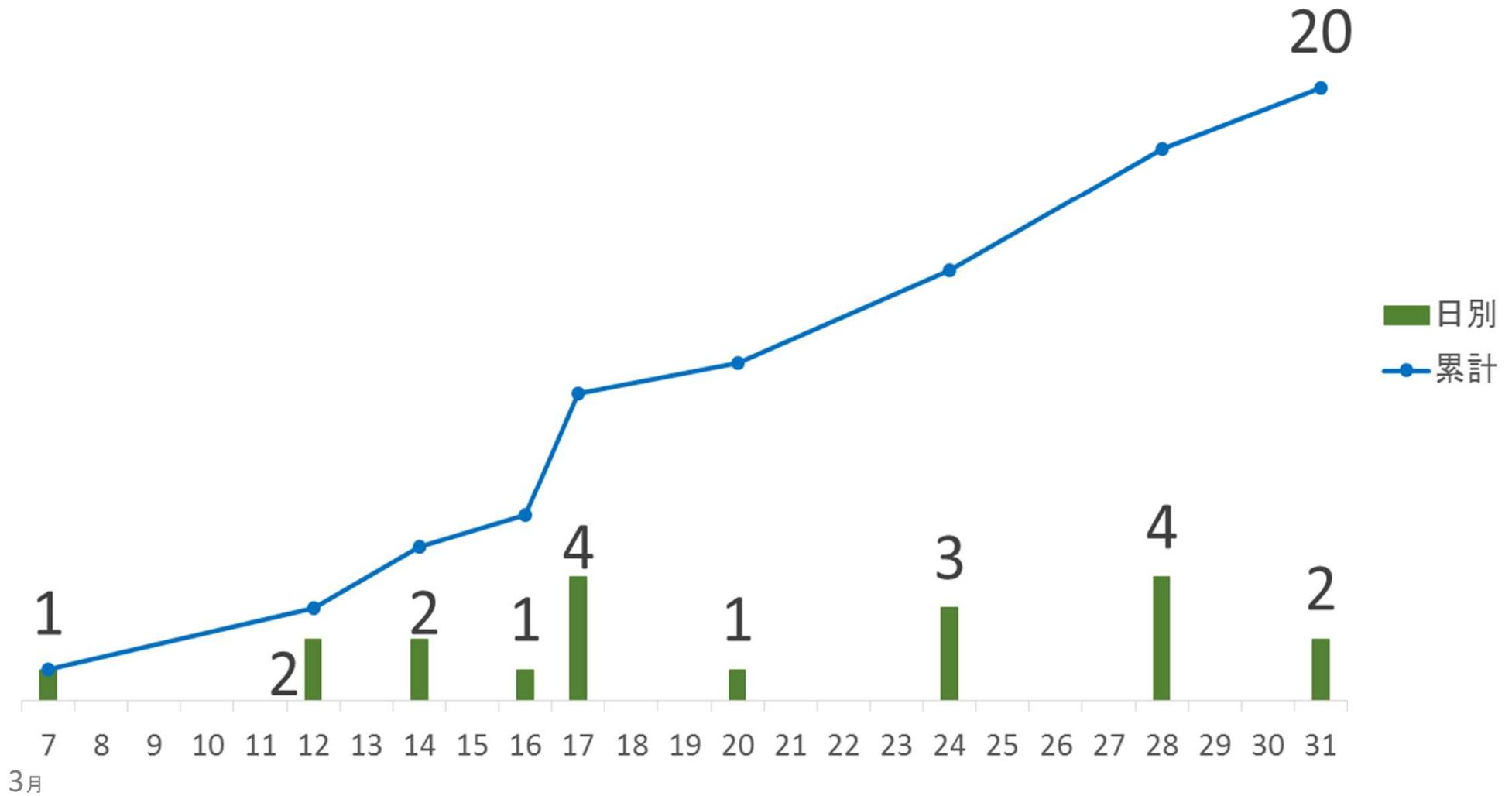
感染者数(全国・日別)

	PCR検査 陽性者	PCR検査 実施人数
国内事例 (チャーター便 帰国者を除く)	2107 (+220)	32,002 (+1,914)
空港検疫	56 (+5)	1,677 (+97)
チャーター便 帰国者事例 (水際対策で確認)	15	829
合計	2178 (+225)	34,508 (+2,011)

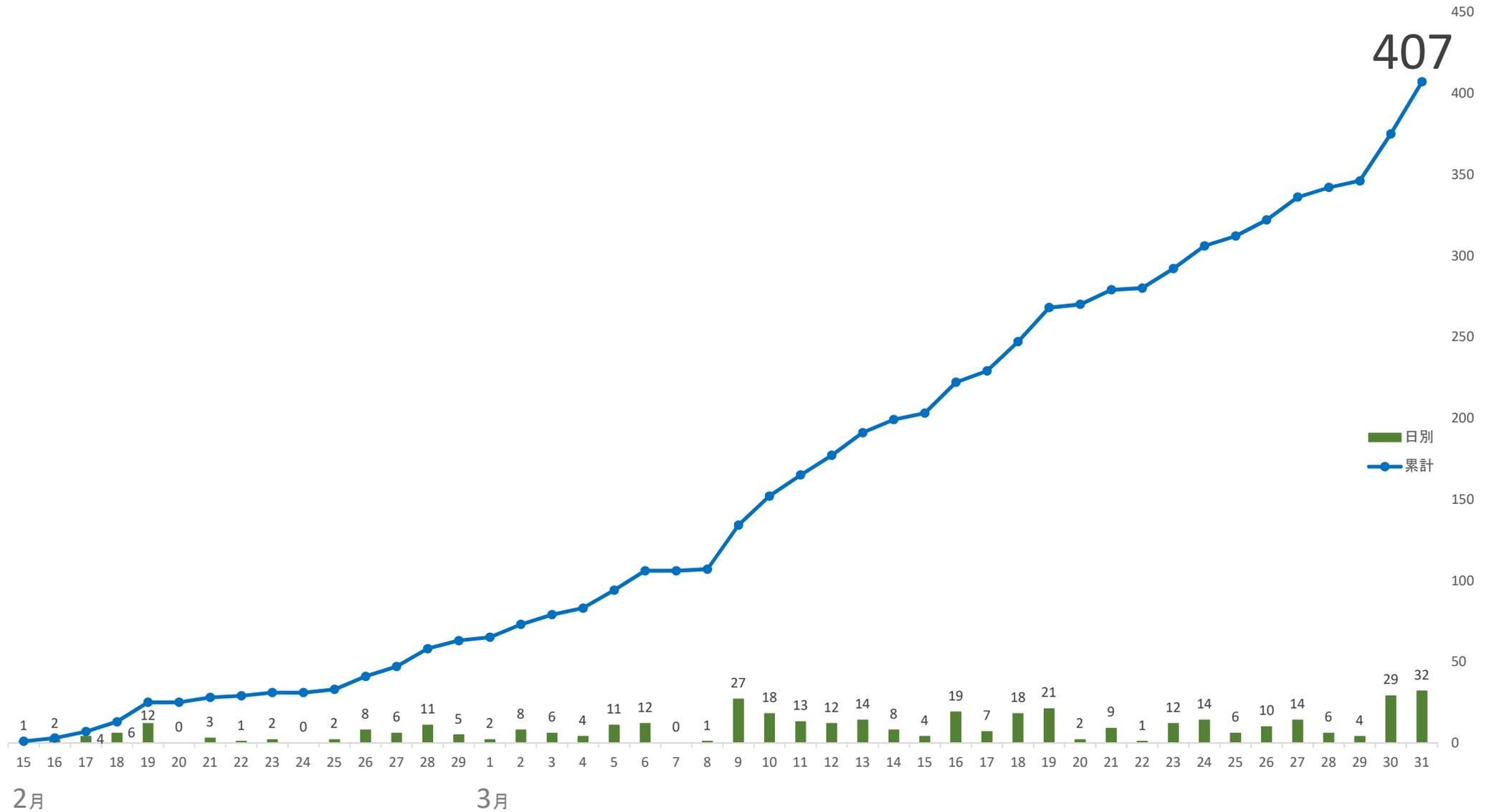
4月1日時点(括弧内は前日からの変化)



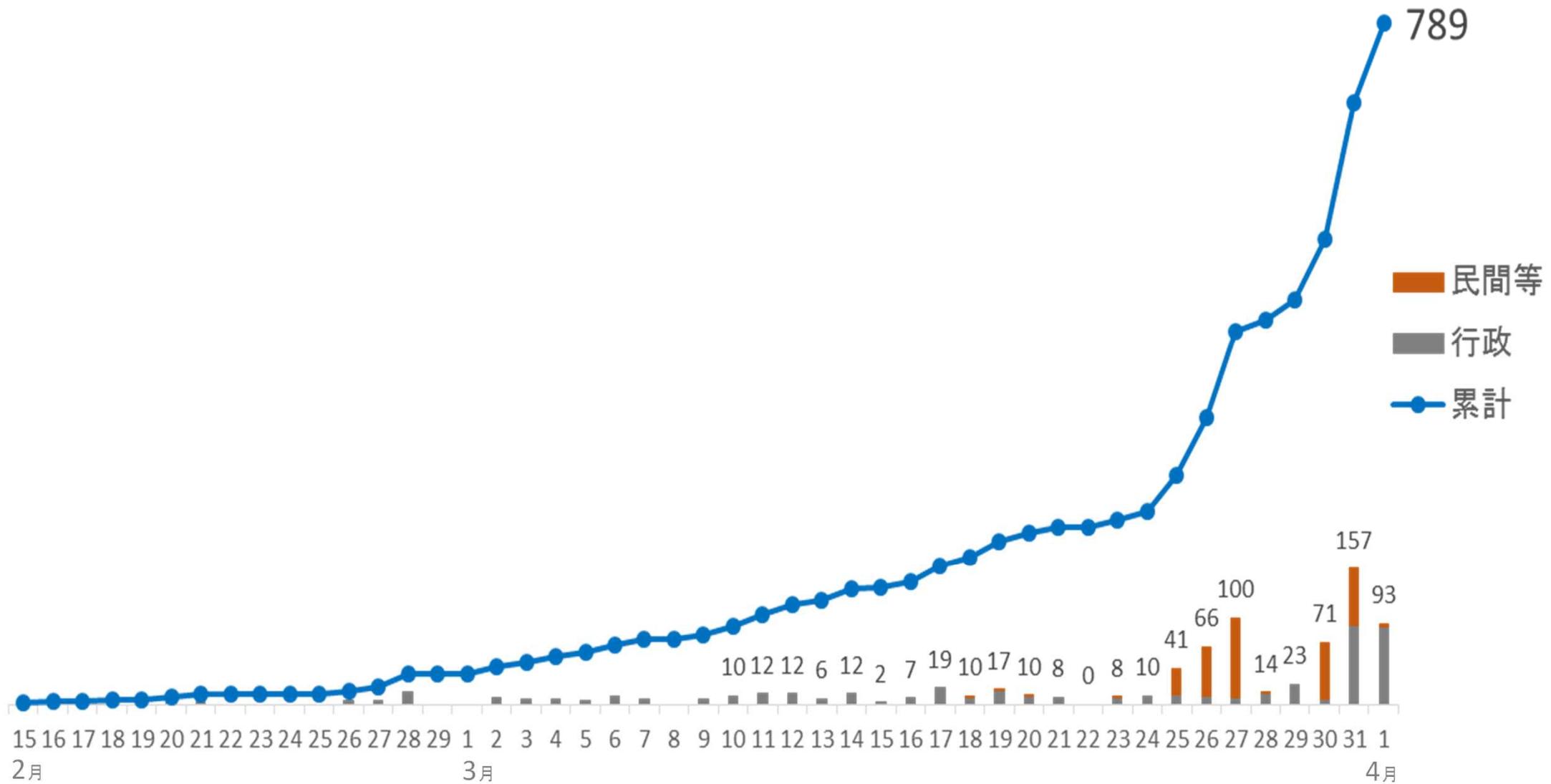
感染者数の推移（県内）



帰国者接触者外来受診者数の推移(県内)



検査数の推移(県内)



県民を守るための考え

医療体制の拡充

⇒ 病床や医療資機材の確保

徹底的な防護策により、感染リスクを低減

⇒ 県立学校再開の延期

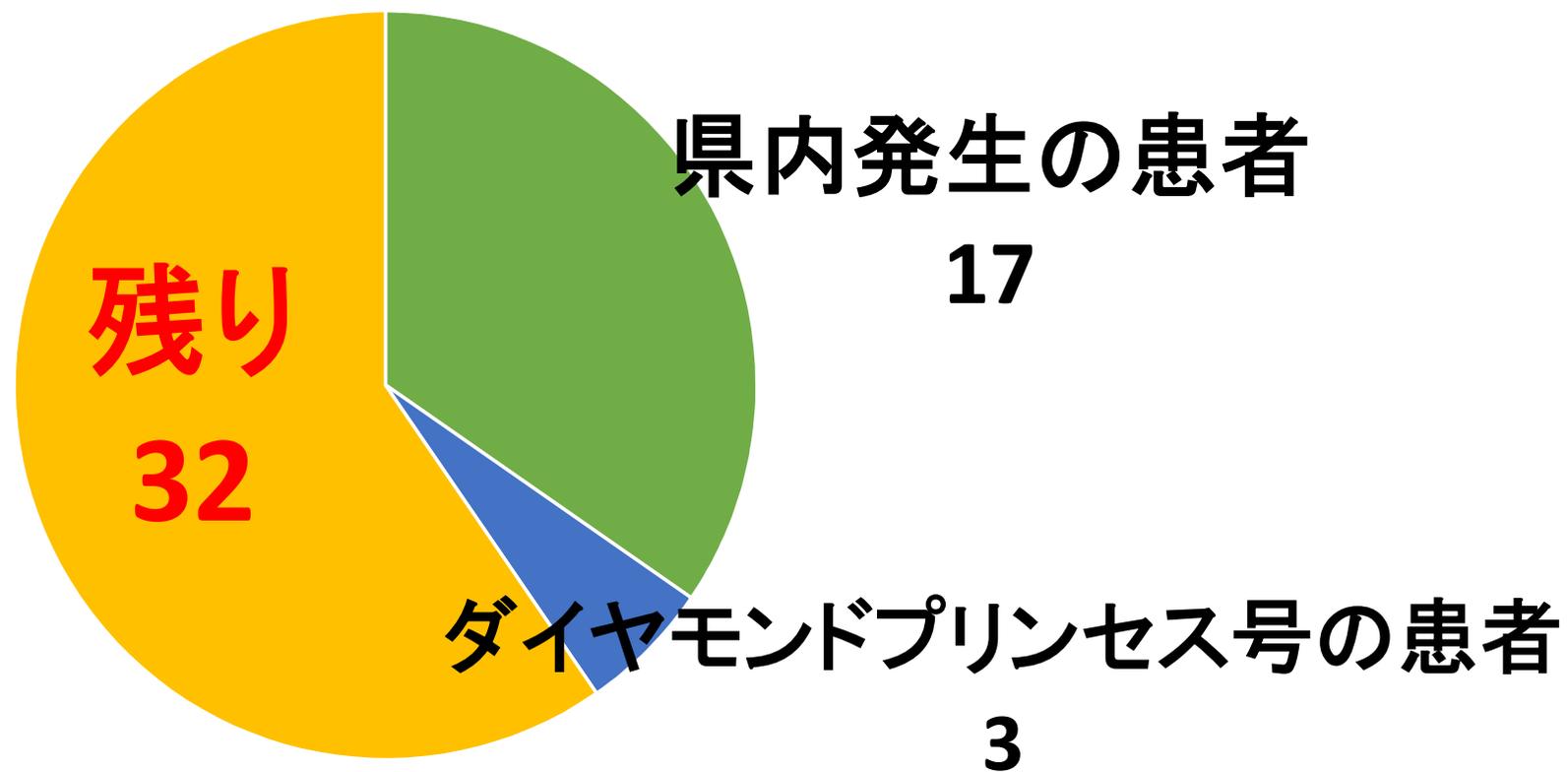
県主催イベント中止・延期

東京等への不要不急の外出の自粛

「新型コロナウイルス感染症対策サイト」の開設

病床の使用状況

計52床



追加的な対策

軽症者が自宅療養以外に、施設で療養を行う場所の確保

医療従事経験者等に対してボランティアを募る

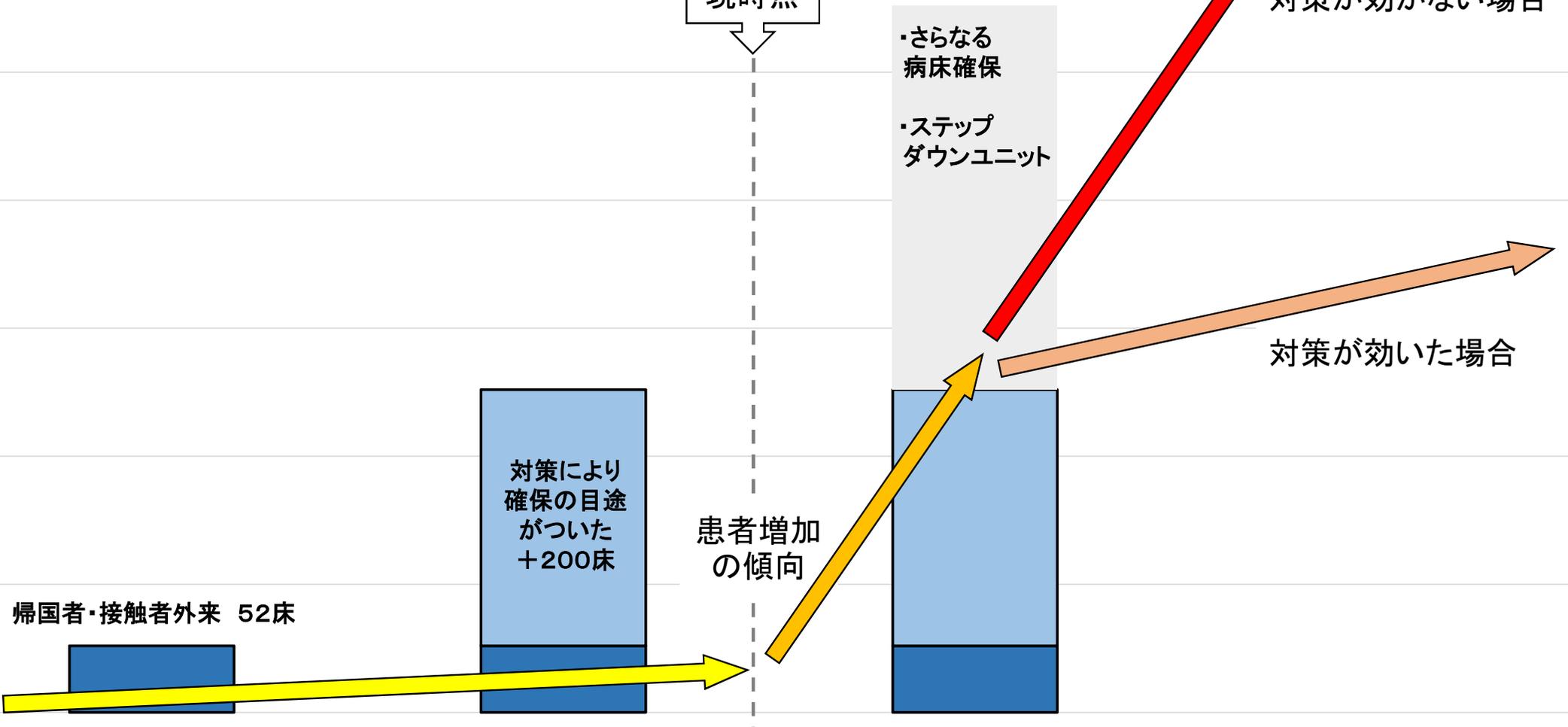
マスク、アルコール消毒液、人工呼吸器など、医療サービスを維持していくための資材確保

今後の見通し

第1フェーズ

第2フェーズ

現時点



学校再開に向けたガイドライン(ポイント)

37.0度以上の生徒は自宅で休養

非接触型体温計で、校門で検温

⇒37.0度以上の生徒は、健康観察の後に帰宅

生徒が一斉に集まるのを避けて、時差登校
登校時に、周囲との間隔は1メートル以上

マスク、手洗い、アルコール消毒、換気の徹底

⇒マスクが無い場合は、家庭や地域と協力して作成

1名の感染者が出た場合には、学級閉鎖

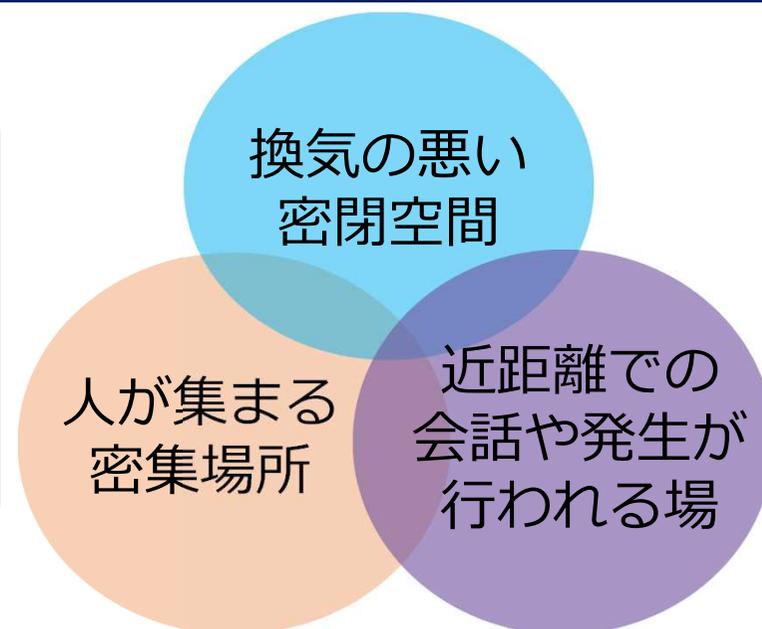
2名以上の感染者が出た場合には、学校閉鎖

新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等実施ガイドライン

県主催イベント等の対象範囲と当面の対応

- 全国規模の大規模なイベント ⇒ 延期または中止
- 会議、講演会等
⇒徹底的な防護策が取れたものから順次、実施

ただし、右記の3つの条件が同時に重なるイベント
⇒実施を自粛する



<防護策>

項目	基本的な考え方
イベント参加者をお願いすること	<ul style="list-style-type: none">●発熱や風邪の症状のある方などの参加自粛●健康状態や連絡先を示した『健康状態申告書』の提出●感染者発生時の保健所の聞き取り調査への協力
イベント主催者が配慮すること	<ul style="list-style-type: none">●入場時やイベント途中に手指消毒を徹底する●定期的に外気を取り入れる換気を行う●会場に入る人数を会議室の定員の半数程度とする